

「『委員活動の見える化』は、活動記録簿の記入から」

～全委員41人が毎月提出を達成！委員自身の整理から委員活動の周知・理解の浸透まで！～

京都府 京丹波町農業委員会



1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員：	19人
○ 農地利用最適化推進委員：	22人
○ 事務局職員：	2人
○ 市町村行政との連携状況：	毎月1回

町農林振興課（担当者）と事務局、現地推進役（農業会議）で調整会議を開催。課題や現状の共有と協議

2 町の概要と課題

（概要）京都府のほぼ中央に位置し、総面積は、303.09km²。約83%を森林が占め、この間を縫って耕地が広がり、集落が点在。人口約13,000人、世帯数は約6,100世帯、高齢化率は44.5%。大都市圏へ1時間台で移動できるなど、交通環境に恵まれた地域。

（課題）高齢化と人口減少等による離農により農業就業人口が大幅に減少。中山間地の条件不利地に加え、有害獣対策と後継者・担い手不足が課題。



3 委員による継続した取組内容

活動記録簿提出状況

R4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
提出人数(人)	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41
提出枚数(枚)	443	455	461	546	451	457	440	421	386	390	398	458

R5	4月	5月	6月	7月	8月	9月
提出人数(人)	41	41	41	41	41	41
提出枚数(枚)	498	468	459	516	498	443

令和4年度
委員総提出枚数 5,306枚 月平均10.8枚
令和5年度
半期結果総枚数 2,882枚 月平均11.7枚

(1) 最適化推進会議で評価表の協議

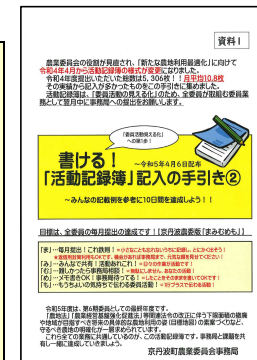
令和5年4月：令和4年度活動記録簿の集計で作成した個人分と地区別分の評価表について確認・点検・評価を実施。個人分→5年度分の活動項目の強化目標を各自で設定。地区別等最適化目標の設定→活動記録簿の提出枚数10枚以上に決定。（前年度7枚以上）

(2) 毎月の活動アップと定期提出に向けて

- 「書ける！活動記録簿！記入の手引き②」と「活動分類一欄表」の作成と活用。（令和4年度の活動事例を参考）
- 毎月の最適化推進会議で活動記録簿の振返りを実施。
- 事務局との連携で普段の活動も無駄にしない！
メモ書きも項目漏れも相談もOK…事務局サポートの徹底。

(3) 委員と事務局の連携強化→スムーズな業務遂行

農地相談も農業者年金の加入推進も！そして「地域計画」も！



4 成果

①「委員活動の見える化」実現

委員の仕事に対する周知と理解の浸透を内外に発信。根拠としての活用と活動の状況把握（自他）が可能。

- ➡次期委員から報酬2割アップが実現
- ➡事務局との情報共有・連携強化

②委員活動の整理と活用

個々の活動メモ（地区状況の把握）や日々の業務整理に活用。引継書の作成などを含め、委員活動の意識高揚と積極的な活動への展開が実現。（現況地図提出の達成や目標地図に向けた話合いの実施など）

③国が定める点検評価のスムーズな実施

- ➡交付金の活用が可能＝最適化交付金（増額）